



岩尾神社拝殿と神体石

# 奇岩続く景勝 ご神体も石



(住所) 山添村吉田  
 (祭神) 岩尾大神  
 (文化財) 巨石は村指定史跡  
 (交通) 県道奈良名張線道標から里

道を数百メートルを数百メートル  
 (駐車場) なし  
 (電話) 山添村観光協会0743・85・0081

三重県との県境に位置する山添村。県道80号(奈良名張線)から里道を数百メートル入った村の東部が、岩尾神社のある吉田集落です。東方を流れているのが名張川で、集落の辺りは奇岩、奇石が続く景勝地です。

集落の中央部、鬱蒼と大樹が茂る山の中に、岩



尾神社が鎮座します。鳥居をくぐると石段が

## 岩尾神社 (山添村)

続き、左には丸みをおびた灯籠、そこから起伏に富んだ里の風景が見渡せます。石段を登りきった場所に拝殿があり、木々に守り包まれた台地の空間が広がります。

祭神は岩尾大神で、拝殿のすぐ背後に、ご神体

の巨大な2個の自然石を拜することができます。二つの巨石の間に祠が設けられ、岩尾大神が祭られています。昔、神がこの地に降臨した際、神がたすき掛けで石を背負ってきた名残と伝わる紐のような跡がくっきりと刻まれています。

神体石を含め周辺の筆

筒、長持、葛石、鏡台と名付けられた石や、馬の蹄跡のある石は、村の史跡に指定されています。時おり、わずかな隙間から木漏れ日注ぐと、まるで古代の風景が照らし出されたかのようです。神体石の足元は、かつての「石売り行事」で子どもたちが河原で拾ってきた小石などで、敷き詰められています。

(奈良まほろばソムリエの会員 藤井哲子)

の会員 藤井哲子